

令和7年度圏域の事業計画および評価

(中部地区)

吉身学区

玉津学区

守山市地域包括支援センター

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務		
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域におけるネットワーク構築	高齢者が通う場所（喫茶店・小店舗・ドラッグストアなど）からの情報収集をケースでの関わりを中心に行うとともに、地域包括支援センターの周知啓発を行い、支援が必要な高齢者を早期発見できるネットワークを構築する。		○	
	インフォーマルサービスを含めた社会資源を把握し、高齢者やケアマネジャー等へ情報提供を行い社会資源の活用に向けた支援を行う。		○	
2 高齢者の実態把握	地域のサロン、出前講座および店舗への周知啓発の機会を活用し、地域の高齢者の困りごとを聞き、実態把握することで課題抽出を行う。	○		
3 相談窓口機能	初期段階からのアセスメントを適切に行い、圏域包括内で課題を整理し、支援の方向性を検討した上で適切な機関、制度、サービスにつなげる。	○		
	「介護のワンストップ相談窓口」として相談を受け止め、相談主旨を整理した上で、適切に関係機関に繋いでいく。	○		
4 専門的な相談支援	依存症の研修等に参加し、アルコールやギャンブルなどの依存症に対する相談への対応力を強化し、適切な支援に努める。		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	玉津学区において「高齢者の困りごとは中部包括に相談」という周知啓発がようやく定着してきたことを実感できた。日頃の周知啓発と迅速な対応の結果と捉えている。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	小売店等への積極的な周知により、地域の方の認知度向上につながっている。今後も継続をお願いします。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて担当課や基幹型と連携するなか、迅速な対応を行い早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 高齢者虐待への対応	民生委員・児童委員、地域住民や関係機関、事業所との連携を密にし、高齢者虐待の予防にかかる啓発や通報窓口の周知を出前講座やサロン等で行い、早期発見および虐待防止に努める。	○		
	本人・養護者支援が効果的に行えるよう、ケース会議を開催し関係機関・事業所との役割分担を明確にして、連携して支援を行う。	○		
2 成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度など高齢者が適時活用できるよう関係機関や地域住民へ無料相談等の情報提供と制度についての周知啓発を図る。		○	
	出前講座やサロン等を活用した啓発や、事例を交えてわかりやすい講座にするなど、住民が正しく理解できるよう、内容等を工夫した形での講座開催に努める。	○		
3 消費者被害の防止	関係機関や消費生活相談員等と連携を図り、消費者被害の状況・内容について把握する。		○	
	訪問時やサロン、圏域主催の行事にて消費者被害防止や相談窓口の周知・啓発を行う。	○		
4 その他	同居の家族に対しても支援が必要な場合は、関係機関や市社会福祉協議会と連携し、社会資源につなげ支援していく。		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括 虐待対応について、令和7年度は経済的虐待を含む複合的課題のケースが多く、養護者支援や支援者・関係機関との連携についてスキルアップを図ることができた。周知啓発についても、「地域での見守り」や「認知症予防」の出前講座に権利擁護を入れ込む工夫をした。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○	コメント		
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	虐待事案に対し関係機関と連携した対応ができた。虐待対応を踏まえ、出前講座に権利擁護の内容を組み込んで啓発していただきました。引き続き積極的な権利擁護の推進をお願いします。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援	事例検討を通じて、個々の支援困難事例における課題を介護支援専門員とともに整理し、地域の課題として捉える視点を共有する。	○		
	家族・親族への連絡・支援について、適切なタイミングや方法を介護支援専門員と検討し、家族支援を引き出せるように支援する。		○	
2 包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	スーパービジョンに関する研修会に参加し、介護支援専門員からの相談に対応できる力を習得する。	○		
3 地域におけるネットワーク構築	介護支援専門員と民生委員・児童委員や地域住民との顔の見える関係づくりのために、事例検討会や勉強会などの機会をつくる。	○		
	民生委員・児童委員の改選において、新しい民生委員・児童委員との関係構築のために勉強会を開催する。		○	
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	民生委員・児童委員の改選のタイミングで勉強会を開催し、多数の参加をいただいた。今後も民生委員・児童委員と介護支援専門員の連携が行えるように勉強会やケース検討会義を開始していきたい。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	民生委員との勉強会、困難事例へのアドバイス等により介護支援専門員の支援を実施された。今後も継続的に実施し、より深い連携や介護支援専門員の資質の向上への取組を期待しています。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業		
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	出前講座やこもればカフェなどで在宅医療・看取りについての相談窓口（在宅医療・介護連携サポートセンター）やエンディングノートの普及啓発・活用促進を図る。		○	
2 在宅医療・介護連携に関する相談支援	病院からの退院時支援において関係機関との連携を図り、サービス調整等に努めることで、不安なく本人・家族が在宅療養できるよう支援する。		○	
	ケースを通じて、通院患者に対しての在宅療養の支援を検討できるよう、総合病院・医院との連携を強化していく。	○		
3 在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	病院との事例検討会や守山顔の見える会、認知症の医療と福祉の連携IN守山野洲等に参加し、多職種連携の実践を学び、関係者等の顔の見える関係を構築する。	○		
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	出前講座にてエンディングノートの普及啓発を行った。 在宅医療・介護連携推進については、ケース対応について積極的に病院の外来担当に働きかけ、連携し課題解決に努めた。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	病院との連携強化により退院支援やケース対応が円滑に進み、相談者・家族に適切な提案・介入が実施できました。また、多職種連携の場への積極的参加で関係機関との信頼関係構築に寄与し、地域における在宅療養支援体制の充実が図られた。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症施策推進基本計画、第9期守山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、以下を重点事項とする。 (1)認知症地域支援推進員が中心となり、認知症に関する正しい知識の普及啓発に努める。 (2)認知症初期集中支援チーム員として、認知症の早期発見・早期支援に努め、発見後の積極的・断続的な関わりを通して事案の複雑化・困難化の予防に努めること。 (3)認知症の人や家族の相談体制を整え、認知症の人の意向を尊重した支援を適切に行うことで、認知症の人とその家族が地域において安心して日常生活を営めるよう努める。 (4)チームオレンジ活動を推進し、認知症の人が個性や能力を発揮することで、地域生活において役割や生きがいを持てる共生社会の推進を図ること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 認知症に関する正しい知識の普及啓発	「認知症になっても安心して暮らせる街づくり」を目指すため、各自治会や地域のグループ、企業等に対し認知症サポーター養成講座を開催できるよう啓発活動を行う。	○		
	認知症サポーター養成講座の内容についてキャラバンメイト、認知症サポーター等の活動関係者と共に検討し、認知症をより身近に感じられるように普及啓発する。	○		
2 認知症の早期発見・早期支援	認知症初期集中支援チームの一員として、本人・家族の葛藤や思いを受け止めつつ、早期に必要な医療や介護サービスに繋げる支援を行い、重度化を予防する。		○	
3 認知症の人と家族への支援	「こもればカフェ」を月1回定期的に開催し、認知症の方やその家族の方にも企画に参加してもらい、集う場所、相談できる場所として活用していただく。	○		
	認知症カフェ開催地から遠方にある地域の方に対し、出張カフェ開催等のニーズを把握し、開催に向けて検討する。		○	
4 認知症の人と家族を支える地域づくり	「チームオレンジ」を知ってもらう機会を増やすため、地域でステップアップ講座等を開催し新たなチームオレンジ立ち上げの基礎づくりを行う。			○
	既存のチームオレンジを含め、「認知症の人が参加し個性や能力を発揮する」ことについて地域住民と考える機会をつくり、地域住民や認知症高齢者とその家族が具体的に共同でできることを検討する。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	認知症サポーター養成講座や出前講座の際に独自のアンケートを実施。講座内容や認知症地域支援推進員の日々の活動の質の向上につなげることができた。 個別事例に対応するチームオレンジ活動の検討・提案などを行った。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	認知症サポーター養成講座やチームオレンジ活動の支援など、地域の方の声を聞き、より良い方法を検討して活動いただきました。 今後も、認知症の正しい理解の普及啓発のために、支援を進めていきたいです。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業		
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、地域における課題の抽出や介護支援専門員の支援等を行うなか、担当地区の実情に応じた取組や資源開発を行い、必要に応じて政策提言等に繋げること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 地域ケア会議の開催	介護支援専門員や民生委員・児童委員から相談のあった事例で地域ケア個別会議を開催し、課題解決に向けて課題を整理し、地域の課題として提言すべき事項を抽出する。		○	
2 資源開発および政策提言	守山市社会福祉協議会と連携し、「守山市人と動物の福祉を考える会議」で「高齢者のペット飼育問題」について関係機関でできることを協議し、政策提言等に結びつけていく。	○		
	社会的に孤立している人の早期発見・早期把握のために、民生委員・児童委員の訪問を拒否している高齢者世帯の把握をする。		○	
3 その他	民生委員・児童委員の改選に伴い、連携の構築を図るため事例検討会や勉強会等を開催する。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	「守山市人と動物の福祉を考える会議」を継続。実態把握のために民生委員・児童委員と介護支援専門員にアンケート実施を企画する。多頭飼育事例も新たに対応し、関係者間の連携を深めている。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	中部圏域で事例の多い多頭飼育の問題について、関係機関との連携を深め、定期的に会議を開催されている。今後アンケート調査等を実施されるとのことで、今後の取組への反映を期待しています。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	家族介護支援事業		
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。家族介護者訪問等を活用し、認知症の人のみならず家族等に対する実態把握により、認知症の人及び家族等が地域において安心して日常生活を営むことができるように関係者と連携し支援すること。また、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 家族介護者支援事業	介護者のニーズに合ったテーマでの家族介護者教室を開催し、介護の知識・技術の習得や参加者自身が不安なく介護できるような情報を提供していく。	○		
2 家族介護者訪問	家族介護者訪問を通じて、介護者自身の健康状態や受診状況、ストレスに注目し、介護者の健康づくりを支援する。		○	
	家族介護者訪問後の支援について、虐待予防の視点から介護支援専門員や民生委員・児童委員等の関係者と連携し、継続的な支援を行う。		○	
3 その他	地域の「介護者のつどい」に参加し、介護者の悩みや要望を聞き取る。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	家族介護者教室にて、昨年行った内容に関するアンケート結果をもとに講演内容を検討。「専門職から教わる臨床検査のあれこれ」「高齢者の皮膚ケアについて」「訪問看護ができること」などを新たに組み込み、参加者に好評を得た。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	家族介護教室にて、独自でアンケートを実施され、参加者の興味深い内容を検討し実施いただきました。引き続き、家族の思いや実態に寄り沿った支援を行い、介護者の負担軽減を期待しています。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域の介護予防活動について状況把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。高齢者サロンや自治会の行事等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における住民主体の継続的な取組を支援すること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 介護予防把握事業	把握した地域の集いの場について、地域住民と連携し参加を必要としている人が参加できるよう支援する。インフォーマルな支援として、介護支援専門員に通いの場を周知しケアプランへの位置づけを推進する。		○	
2 介護予防普及啓発事業	介護予防教室や出前講座にてフレイル予防の重要性を啓発するとともに、新たなフレイルの知識（ヒアリングフレイルなど）を普及し、高齢者の社会参加を推進する。	○		
3 地域介護予防活動支援事業	高齢者の居場所・介護予防活動拠点を訪問し、相談支援ができる関係づくりを行う。	○		
4 その他	地域のサロン等に出前講座等の提案を行い、介護予防の普及啓発を行う。		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	介護予防教室にて様々な専門職（管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、言語聴覚士）を招いてフレイル予防について講演いただき、参加者に好評を得た。地域の居場所・介護予防活動拠点を訪問し実態把握を行うとともに、住民・介護支援専門員への情報提供を適時行った。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	介護予防教室等において様々な専門職と連携する等周知を強化するための工夫がなされている。引き続き活動拠点との関係を強化し、地域との結びつきが強くなるような活動をお願いします。
	○			

(様式3)

令和8年4月10日

守山市地域包括支援センターあて

居宅介護支援事業所選定支援状況報告書

事業所名 守山市中部地区地域包括支援センター

令和8年3月末現在

1 利用者が決定した事業所等件数（令和7年4月～令和8年3月）

居宅介護支援事業所名	件数	主な決定理由
守山市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所	24	知人や家族が利用していたため（5件） 即時対応可能事業所調整（5件） 要支援者受け入れ可能事業所調整（4件） 家族の希望を受け調整（3件） その他（土日対応可能）（3件） 本人の希望を受け調整（2件） 男性ケアマネが適切と判断し調整（1件） 困難ケース受け入れ可能事業所調整（1件）
ゆいの里居宅介護支援事業所	16	本人の希望を受け調整（5件） 即時対応可能事業所調整（4件） 家族の希望を受け調整（3件） 要支援者受け入れ可能事業所調整（3件） 困難ケース受け入れ可能事業所調整（1件）
しがそせい苑居宅介護支援事業所	8	要支援者受け入れ可能事業所調整（3件） 即時対応可能事業所調整（4件） 男性ケアマネが適切と判断し調整（1件）
あいむケアプランセンター	7	即時対応可能事業所調整（4件） 家族の希望を受け調整（2件） 要支援者受け入れ可能事業所調整（1件）
ゆうらいふ居宅介護支援事業所	6	知人や家族が利用していたため（2件） 即時対応可能事業所調整（2件） 要支援者受け入れ可能事業所調整（1件） 医療に強い事業所調整（1件）

すこやか生活支援センター	5	即時対応可能事業所調整（4件） 要支援者受け入れ可能事業所調整（1件）
野洲すみれ苑居宅介護支援事業所	4	家族の希望を受け調整（1件） 要支援者受け入れ可能事業所調整（1件） 即時対応可能事業所調整（1件） 困難ケース受け入れ可能事業所調整（1件）
しみんふくし滋賀居宅介護支援事業所	2	要支援者受け入れ可能事業所調整（1件） 即時対応可能事業所調整（1件）
びわこメディカル居宅介護支援事業所	2	本人の希望を受け調整（1件） 家族の希望を受け調整（1件）
またあした居宅介護支援事業所	2	要支援者受け入れ可能事業所調整（1件） 即時対応可能事業所調整（1件）
ミライリハケアプラン	2	要支援者受け入れ可能事業所調整（1件） 即時対応可能事業所調整（1件）
ケアプランなかさと CCS	2	医療に強い事業所調整（2件）
ケアプランセンターひびき	1	その他（本人両親を担当したケアマネジャーが移籍した事業所）（1件）
医療法人小西醫院居宅介護支援事業所	1	家族の希望を受け調整（1件）
日昇	1	要支援者受け入れ可能事業所調整（1件）
医療法人社団真下胃腸科医院 居宅介護支援事業所	1	家族の希望を受け調整（1件）
ケアプランセンター楓	1	即時対応可能事業所調整（1件）
ライフパートナーパドル	1	即時対応可能事業所調整（1件）

<令和8年3月末現在 調整件数 86件>

2 全体評価

令和 7 年度は、調整件数 86 件のうち 3 割近くの 24 件が自法人の居宅介護支援事業所となった。自法人の居宅や介護サービス事業所が中部圏域内にあり、地域で利用されている方も多いことから自法人を希望される方も多かった。また、土日対応できる居宅を希望される方については自法人から紹介させていただいた。

インセンティブ交付金を取得していることやケアマネジャーの人数が多いところなどは比較的受けてもらいやすい傾向にある。ケースの特性上、即対応可能な事業所を探すことが多く本人や家族の希望を聞きつつ即対応できる事業所を偏りなく依頼をさせていただいた。

居宅介護支援事業所の選定支援については公正・中立であると言える。